

議会デビューそつなし

質問1時間、原稿なし答弁も

12/26 22

今日19日に戦後初の民間出身者として大阪市長に就任した平松邦夫市長が25日、市議会の民生保健委員会で初答弁。質問は関淳一前市長が打ち出した同和行政の見直し方針に対する姿勢が中心で、最初の答弁は「(関前市長の)方針を變更する気持ちはありません」と述べた。26億円に上る市の貸付金が擧げついでいる「おとしより健康センター」(中央区)については、前市長の運営責任を追究する姿勢を示し、市議からは「おとしより」の感想も出た。

平松市長は民主、国民新推薦で市長選を戦ったため、議会の与党は民主

なものである。この日の委員会は野党となった自民と公明の市議が計約1時間、質問。平松市長は原稿なしで答える場面もあった。同和対策事業として建設された一部の老人福祉センターの事業見直しを取り上げた自民市議は、選挙で平松市長支持を解明にしたり部解同連大阪府連の機関紙の「こぼし」を委員会で配り「その他の事業も含め、事業見直しの一部でも變更はないのか」と質問。平松市長は「透明性、公正性がないものは見直し、リセットする」という方針は変わらない」と述べた。

野党化している市医療事業振興協会運営のおとしより健康センターについて質問。最新の建物の鑑定額が3億4200万、3億8400万円しかない。売却できても20億円以上の債権放棄は確実とし「債権を放棄する場合は」謝罪するのか」と質問した。

平松市長は「過去にこのほって責任が明確に

ある市議は「アドリブの答弁もあってそつがない。ただ市民へのメッセージ性という点では弱いような気がした」と感想を述べた。

厳しい質問 無難に

大阪市 平松市長が初論戦

12/26 NH20

大阪市議会民生保健委員が二十五日開かれ、平松邦夫市長が就任後初めて議会での論戦に臨んだ。多数野党の自民、公明両党から同和行政の見直しや「負の遺産」などについて厳しい質問が相次いだ。平松市長はそつなく答弁し、無難な議会デビューとなった。

東貴之議員(自民)は、市長選で市長が部落解放同盟の支援を受けたことに絡み、市人権協会に管理委託する同和地区内の老人福祉センター(九カ

未返済金調査を言明

健康センター 貸付金問題 平松・大阪市長が初答弁

12/26 26

大阪市の平松邦夫市長が「(中央区)の責任問題」25日、市議会民生保健委員について問われ、「過去に貸付金26億」のほって問うてきた「おとしより健康センター」の市議会答弁は初めて。

辻義隆議員(公明)の質問に答えた。市側は、民間法人への事業譲渡方針を決めている同センターの鑑定額が3億4200万、3億8400万円で、3法人が購入を希望していることも公表。今後、3法人から運営方針の提案を受け、来年2月までに選定する。

「手探り状態」初答弁

議員「あいまい」「分かりやすい」

大阪市の民生保健委員会が25日開かれ、平松邦夫市長が就任以来、初めての答弁に臨んだ。施政方針演説をする前に新市長が答弁に立つのはきわめて異例だが、野党の自民、公明両党の市議が、同和施策の見直し方針や外郭団体への貸付金問題に関して市長の答弁を求めたのに応じた。

平松市長は「やむを得ない表現ながらも、滑らかな口調で答弁。市議らは「そつがないが、あいまい」

「前市長より分かりやすい」など揶揄に受け止めた。質疑後、平松市長は「質問を受けたテーマについてまた把握しきれておらず、手探り状態での答弁だった」と話した。施政方針演説は、市議会が開会する28日に行われる。

最初に質問に立った東貨之市議（自民）は、部落解放同盟大阪府連の

版」を示しながら、「平松市長を支援する内容の記事が度々出ている」と指摘した。平松市長が推薦を受けた民主党が部落解放同盟の支援も受けていることを念頭に、市が昨年度に決めた同和施策

の「見直し方針に変更や修正の意思がないかを問いただした。平松市長は「見直し方針にいきさかの変化もない」と答えた。

辻義隆市議（公明）は市が約26億円を貸し付けている外郭団体「市医療事業振興協会」を取り上

げた。「市民の税金が損なわれた場合、謝罪はするの」と質問。平松市長は「過去にさかのほり、可能な限り責任の所在をはっきりさせたい」と述べた。

質疑は約50分間にわたった。東市議は「年明け早々に決定しなければならぬ事項も多く、いち早く市長に直接質問したかった」。辻市議は「今後とも是非々々で質疑していく」と話した。

平松市長が初答弁

市議会常任委

アドリブ交え、まずは無難に

4/26 11:21

大阪市の平松邦夫市長は25日、市議会民生保健委員会に出席し、初答弁した。同和関連事業の見直しなどについて野党として質問し

た自民、公明の議員に、アドリブを交えながら、「見直しをやるべきとの姿勢に変わりはない」と自らの考えを説明。質問議員からは

「ソツがない」「自分の言葉で答えていたのはいいのでは」との感想も漏れ、まずは無難にこなし、関淳一前市長時代に

は、議会与党との間で事前に質疑応答の内容をある程度すり合わせ、担当部局だけが答えて終わることもあった。しかし、この日の委員会では市長に質問

が集中。事前通告がなかった内容もあったと28日に開会する定例会

責任追及の考え

平松市長

老人保健施設などを運営する大阪市の外郭団体「市医療事業振興協会」（医事振）に対する市の融資26億1800万円がまったく返済されていない問題で、平松邦夫市長は25

本会議で行う。

て返済に当たりたい考え。

しかし、建物が市有地にあるため、20年後に無償で市に引き渡す条件で売却する場合、価格が3億4200万円〜3億8400万円にしかならないことも新たに判明。融資の大半は債権放棄が避けられない状況だ。

【井上直樹】